

肝がん治療の最新の話題

肝臓内科 部長 池田 健次

肝がん（肝細胞癌）は、わが国ではがん死亡の上位（男性では第4位、女性では第6位）を占めるメジャーな悪性腫瘍ですが、その発生原因がある程度分かっているがんの一つです。日本では、肝がんの約60%がC型肝炎ウイルス、約15%がB型肝炎ウイルスの持続感染が原因で、その他には飲酒（アルコール性肝障害）や脂肪肝などが原因になります。肝がんのもう一つの特徴は、原因がはっきりした肝臓に発生するという点に由来して、手術などで肝がんを取り除いても、再び新しい肝がんが発生（再発）することが多いという点です。

肝がんになりやすい人は、このようにあらかじめ予想がつくので、肝機能やエコー検査などで定期的なチェックを受けている人も多いです。さまざまな経過から肝がんと診断された人は、肝機能（肝臓の予備能力）、がんの大きさ、がんの個数などから、外科的手術、内科的なラジオ波焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法、抗がん剤内服などの治療が選ばれ、それぞれの治療にさまざまな進歩がみられています。

内科的に肝がんを「焼く」治療としてラジオ波焼灼療法がありますが、2013年からはバイポーラの機器が使用可能となり、腫瘍に触れないで複数の電極針を結節周囲に配置して焼灼することができるようになりました。このラジオ波治療では、大型肝がん焼灼・肝がん播種防止・再発率低減などを目指す工夫が可能になりました。

肝がんが肝臓内で多発してしまったいわゆる中期進行肝臓癌に対しては、肝動脈化学塞栓療法（TACE）が行われます。これは、肝がんを栄養している動脈に抗がん剤を動脈注射したり、塞栓物質により血流を途絶させたりして、腫瘍を壊死に陥らせようとするものです。2012年ころからは、マイクロバルーンカテーテルによるバルーン閉塞下肝動脈化学塞栓療法が行われるようになり、TACEの効果が高まりました。2014年からは塞栓物質としてビーズ製剤が使用可能となり、TACE治療の選択肢が増えました。抗がん剤としてどれを使用するかを選択に加えて、個々の腫瘍により対してこれら治療手技をどのように使い分けるかが大きな話題になってきました。

肝臓外に転移したり、肝臓内を流れる門脈を閉塞させたりするような進行肝臓癌に対しては、持続動注化学療法や分子標的薬内服による治療が行われます。内服抗がん剤としてはソラフェニブのみ

肝臓内科 部長

池田 健次 昭和53年卒



<専門分野>

肝臓の早期診断と内科的治療、慢性肝疾患よりの発癌予防治療、慢性肝炎に対するインターフェロン治療

<資格・所属学会等>

- 日本内科学会 総合内科専門医・指導医
- 日本消化器病学会 評議員・消化器病専門医・指導医
- 日本肝臓学会 評議員・肝臓専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- 日本癌治療学会 臨床試験登録医

が2009年より使用されてきましたが、2017年からは第2番目の分子標的薬としてレゴラフェニブが認可される予定です。

肝臓癌に罹患する人は徐々に高齢化しており、さまざまな全身の合併症（肝臓以外の病気）のため外科切除やラジオ波焼灼療法による治療が困難な人では、放射線治療（粒子線・定位放射線）が有用であることが認識され、徐々に適用範囲が大きくなってきています。

最近の最も大きな話題は、C型肝炎ウイルスを排除するための内服抗ウイルス薬の認可です。2014年9月にダクラタスビル+アスナプレビルの2剤併用治療が使用可能となって以後、ソホスブビル+リバビリン、ソホスブビル+レジパスビル、オムビタスビル+パリタプレビル+リトナビル、エルバスビル+グラゾプレビルなどが相次いで認可されました。副作用の比較的少ないこの内服治療は、肝機能が良好で、肝臓癌の根治治療が行えた人に行えますが、貧血やウイルスの耐性状態（効きにくいウイルス）、腎障害、心疾患、現在内服中の薬の種類などによっては行えないこともあります。肝臓癌治療のあと、C型肝炎ウイルスを除去することができれば、今後の肝臓癌再発確率が減ることが期待されますが、一部の患者さんでは抗ウイルス治療中や直後に肝臓癌の急速再発・悪性再発をすることも知られていて、注意が必要です。

ほとんどの肝がん治療にかかわっている薬や器械は、治験（臨床試験）を経て認可に至っています。最近の肝がん治療の進歩を、これらの治験の成果を踏まえて知っていただきたいと考えています。

…詳しくは公開講座へ…
2017年3月の公開講座

日時：3月11日（土）14時～15時30分
場所：虎の門病院本院 本館3階講堂
概要：『肝がん治療の最新の話』
講師：肝臓内科 池田 健次 部長

虎の門病院では定期的に一般の方向けの公開講座を開催しています。

どなたでも（虎の門病院を受診していない方でも）ご参加いただけます。

講師は虎の門病院所属の医師が担当し、講演後には質問もお受けいたします。



申込み不要・入場無料、
皆さまのご参加をお待ちしております。

虎の門病院 公開講座

検索



公開講座はDVD化しています。



DVDは本館8階にある患者図書室で
1泊2日でレンタル出来ます。
図書室内でご覧になることもできます。
（イヤホンをご持参ください）。

講座当日にお越しになれない方、
過去のあの回をもう1度見たいという方、
ぜひDVDをご活用ください！

